

令和5年度 第3回学校運営協議会（記録）

1 日時 令和6年2月8日（木）10:00～12:00

2 参加者 学校運営協議会委員
・門池地区連合自治会長 様 ・さんしんハートフル株式会社人材開発部主査 様
・沼津市手をつなぐ育成会顧問 様 ・愛鷹分校 PTA 会長 様
・校長、副校長、高等部主事、教務主任

3 当日の内容 〈○：委員 →：学校〉

① 後期取組の報告

10周年記念事業

・前回、地域への方法、生徒の参加について意見をいただいた。4月から記念式典に向けて、生徒たちと共に取り組んできた。式典へ生徒がさらに参加できる方法を提案していただき、短い期間ではあったが生徒たちが司会、発表を行うようにした。

分校だより

・今までに2号を発行。次号は、生徒たちから出た愛鷹の魅力について発行予定。保護者への配付のほか、HP や学区内の特別支援学級のある中学校へメールを案内を出している。

他機関との連携について

・さんしんハートフルとの清掃指導や研修などについては、今年度実施ができなかったが来年度に向けて計画中。

② 学校評価

報告

学校運営協議会の周知

・10周年記念事業への意見を校内へ伝えたことで、学校運営協議会への意識が高まった。
○10周年式典は、生徒主導になってよい形になった。
→意見をいただかなければ、教員が進めてしまっていたが、生徒たちが関わることでよい式典にすることができた。
○教員がやるほうが早くできる。でも、生徒が自分でやった経験を積むと自信になる。
これからの取り組みの考え方として続けてほしい。

ICT 活用

・新しい内容が入ってくるため、活用については評価が厳しくなる。教員の活用だけでなく、生徒がどのような活用ができているかの検証が必要となってくるのではないかと考えている。

学校PR

・愛鷹分校の魅力の伝え方を考えていかなければならないと感じている。
○記念式典などに参加することが、いろいろな情報を得るいい機会となっているが、参加していない人にそのことを伝えることは難しい。10周年式典ももっと他の人が参加できるとよかったのではないかと。また、やっていることを実際に小中学校で興味をもっている人に届けていけるとよい。
○小中学校の支援が必要な子供の保護者に対しての情報が少ないと思う。愛鷹分校が基幹的な立場になって、学区の小中学校に学校参観などを呼び掛けてはどうかと思う。特別支援学校の教育の良さを感じることもある。実際の場合を知ることは大切。

○保護者は、自分がずっと関わっていかねばならないとは思っているが、成長と共に離れている傾向がある。自分たちの子供たちがやっている姿を見ることで成長を考えられる。見たことを基にさらなる成長のためにどのようにしていくか考える機会となるとよい。保護者は忙しいが、学校との協力をもっとしてもらえるとよいと思う。

③ 来年度の提案

人権意識の向上と、人権教育

- 理解や受け取りの多様さを踏まえた人権の考え方を身に付けていきたい。
さんしんハートフルとの合同研修を行い、教員だけでなく多角的な見方を考えられるようになるとうい。

授業づくりの充実

- 生徒一人一人が、自分の目標をもちそれを達成できるような学習の積み重ねを行っていく
教員、本人、保護者の思いが同じ方向を見られるように、自立活動の考え方を入れた授業づくりを行っていく。

地域作業の充実

- 作業学習を再考し始めている。外部からの清掃技術指導、保護者による見守り支援などを取り入れていきたい。
生徒と一緒に学習を行っていると、気づかないことも出てくるのでいろいろな意見をもらえる機会を持っていきたい。

○社員は、プロとして十分教えられる技術をもっている。また、社員にとっても学びの場となる。卒業してからの社員の課題は、学校時代に出てこなかった課題であり、学校でこういうことをやっていけたらいいと共有することができるのではないかな。
→つながりを強化して、自分たちの自信としていきたい。

共生共育

- 愛鷹分校と沼津城北高校のかかわり方。両方にメリットのある活動は何かを考えていきたい。
門池地区との関わり、今までの活動を継続してやっていきたい。
- 共生を目指すためには、活動をやらされている状態では障害理解が深まらない。普段から一緒にいる時間があるなど、計画された活動以外のものはできないだろうか。保護者を含め学ぶ機会を作っていくことが必要なのではないかな。
→障害者年金など社会に出てから必要な手続きについては、3年生で行っている。年金をもらうまでの2年間をどのように過ごすか、実際の手続きの難しさを感じている。

学校PR

- 生徒たちが発信について考える機会を作っていく。

働きがいのある職場

- アサーションの考え方をもとに、次年度も続けていけていけるとよいと考えている。
より良い分校にする視点で一緒に取り組んでいくことを考えていきたい。人権、SNSに関する研修をさんしんハートフルに協力を得ていきたい。
- 防災に関しては、今まで続けてきたものに+α活動できるとよい。

まとめ

- 新しいことをやるのではなく、今までやってきたことをより良くするためにどうつながるかどうブラッシュアップするかを考えていく。
- 地域作業の取り組みが、地域に伝わっていない。地域への発信を積極的に行っていくとよい。
→学校の中では当たり前になっていることも、運営協議会で意見をもらい気づくことも多い。
これからの愛鷹分校の取り組みへの協力をお願いしたい。